

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱自動車工業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒108-8410 東京都港区芝五丁目3番8号
----	----------------------------	----	---------------------------------------------------

本票作成 部署名：安全・環境推進部 動力管理担当

主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要  
自動車製造業  
生産台数309,232台（平成27年度）、従業員3,920人（平成28年6月1日時点）

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島製作所	倉敷市水島海岸通一丁目1番地

特定事業者の該当要件  
 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上  ②バス・トラック100台、タクシー250台以上  ③CO<sub>2</sub>換算3,000t以上  
 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27 )年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	148,248 t CO <sub>2</sub>	133,785 t CO <sub>2</sub>	123,986 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27 )年度排出量
	①	水島製作所	133,785 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 27 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.8 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 温室効果ガス排出量 指標(生産台数) 原単位 基準年度 148,248tCO <sub>2</sub> 336,800台 440kgCO <sub>2</sub> /台 【目標原単位】440kgCO <sub>2</sub> /台×0.95=418kgCO <sub>2</sub> /台	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 27 )年度	目標年度
		440 kg CO <sub>2</sub> /(台)	432 kgCO <sub>2</sub> /(台)	418 kgCO <sub>2</sub> /(台)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等
		該当なし		

【削減状況の自己評価】

- ・目標削減率の5%は平成26年度の前単位当たり排出量を基準に、5ヵ年計画で達成を目指しており、省エネ法の削減努力目標5年度間平均1%以上低減に合わせている。
- ・平成27年度は平成26年度に対し、前単位当たり排出量が1.8%改善し年率1%以上の改善が出来ていることから計画通り進捗出来た。
- ・引き続き、低減アイデアおよび省エネに資する投資計画の実行を推進し目標達成を目指す。

**【推進体制】**

社長－環境管理責任者（環境担当役員）－生産統括部門長－水島製作所所長－各部長－各課長－推進者  
 －各製作所所長  
 －各統括部門長

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
<b>【平成27年度に実施した措置】</b>	
板金工場（3000工場）	板金工場の天井照明を水銀灯からLED照明に変更し使用電力量を削減した。 （現状） 0.4kw×309灯＝124kw ① 0.7kw×152灯＝106kw ② （変更後）0.085kw×309灯＝26kw ③ 0.131kw×110灯＝14kw ④ 0.161kw×42灯＝7kw ⑤ 削減効果：①＋②－③－④－⑤＝124kw＋106kw－26kw－14kw－7kw＝183kw
部品序列工場（2200工場）	部品序列工場の天井照明を蛍光灯から水銀灯タイプLEDおよび蛍光灯タイプLEDに変更し使用電力量を削減した。 （現状） 0.04kw×1779灯＝71kw ① （変更後）0.085kw×85灯＝7kw ② 0.038kw×153灯＝6kw ③ 削減効果：①－②－③＝71kw－7kw－6kw＝58kw
<b>【今後の取り組み】</b>	
鑄造工場（4000工場）	鑄造低周波誘導炉（電気炉）8基からエネルギー効率の良い高周波誘導炉（電気炉）3基に変更することにより、炉保持電力量の削減および溶解電力量の削減を図る。 <エネルギー定格容量> （現状）低周波誘導炉（8基）12,500kw （変更後）高周波誘導炉（3基）9,900KVA ※17年4月より本格稼動予定
塗装工場（4600工場）	塗装工場で夏季（6～9月）に使用する冷水発生装置を吸収式冷凍機（蒸気式）からエネルギー効率の良いターボ冷凍機（電気）に変更する。 （現状） 吸収式冷凍機（蒸気式）1500usRT×2台 エネルギー定格容量：6.6t/h×2台 （変更後）ターボ冷凍機（電気式）1500usRT×2台 エネルギー定格容量：903kWh×2台 ※ターボ冷凍機導入は16年5月完了、16年6月より本格稼動開始

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	有	2006年より山梨県早川町の約3ヘクタールの山林を『バジェロの森』と命名し、森林整備活動（苗木の植栽や草刈り、間伐等）を実施。2014年より同町の湯島地区の山林（約7.23ヘクタール）に活動エリアを拡大した。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

特に無し